

「年輪」

No.861



◆コロナ関係

感染者数の減少は高止まりの状況で、第7波の到来も予想されています。重症化しないとはいえ、仕事や学校を休む必要があり、家庭内感染となると、その対応も面倒です。若い人でも、後遺症で辛い思いをする人もいます。まだまだ感染防止に細心の注意を払う必要があります。

◆慈恵会の入社式

4月1日朝新須磨ホールで慈恵会の入社式を行いました。採用日に多少の前後はありますが、今年の新入職者は23名です。

式のあとは研修スケジュールに沿って研修を受けています。コロナ対策、感染対策、認知症ケアなど今の時代を反映するような内容も含まれています。

◆神戸総合医療専門学校の入学式

4月2日神戸総合医療専門学校の入学式が行われました。今年の新入生は7学科225人です。コロナ対策のため、保護者や来賓の出席もお断りした簡素な式でしたが、これから医療を目指そうとする若い人の目は真剣で、私もいい刺激を受けました。



本校の強みは、新須磨病院を中心とする慈恵会グループの中で、病院や施設実習ができたり、病院からさまざまな分野の非常勤講師にきてもらえることです。1973年に開校し来年で半世紀を迎えます。今までに、全国の医療現場の8,000名を超える卒業生を輩出しており、歴史のある学校といえます。



弱い人間は許すことはできない
許しは強い者の資質だ

ガンジー

許すのは、心の弱い人や、宗教にかぶれた人のやることだと考えて、憎しみにとらわれ続けるのはおろかなことです。

◆今週の院長予定

4月4日	月	8:00運営会議、17:30医局会			
4月5日	火	9:00外来、午後松江へ			
4月6日	水	松江 午前松江校入学式、午後あいさつ回り			
4月7日	木	9:00~11:00来客、14:00外来検査			
4月8日	金	9:00外来、14:00手術、コロナ会議			
4月9日	土	9:45新須磨クリニック、13:00介護の家往診、15:00須磨区医師会			

◆がん治療の「免疫革命」

- がんと水素と「悪玉キラーT細胞」-

赤木純児 ワニブックスPLUS新書

手術・化学療法・放射線が標準的ながん治療といわれ、その治療で効果がなければがん専門医から見放される患者さんが多いのが実情。赤木先生はそのようながん患者を救うため、水素と免疫療法と温熱療法を組み合わせた独自の治療方法で多くのステージ4の患者さんを救われている。その実例と、がん増殖サイクルに適した治療法の根拠を分かりやすく解説した本。

私は半年前に、熊本にいて赤木先生にお目にかかるその治療効果を知ることができたので、当院の温熱療法に来られる患者さんには、この本を進呈し、水素吸入なども勧めている。その中には、がん専門病院であとは緩和治療しかないといわれ、藁にも縋る思いで来られた方で効果があつた症例もある。患者さんには決してあきらめず、粘ることを勧めている。



緑の下の力持ち⑨
放射線科松本先生

松本先生の読影に当院医師の誰もがお世話になっています。その読影能力は驚かされることがたびたびあります。食道・胃・大腸といった、CTやMRでは苦手な管腔臓器の癌までも、ある程度のもなら指摘してもらえます。O157による大腸炎の可能性を指摘され、びっくりしたこともあります。

松本先生の素早く的確な読影により、当院のCTやMRの価値は何倍も高くなりました。まさに、診療における緑の下の力持ちといえる存在です。

神戸で一番

親切で

丁寧で

優しい医療を

